

負担金検証調書【令和7年度交付分】

1 負担金の予算決算等について

負担金の名称	近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会 負担金			市の担当部課	歴史まちづくり課			問い合わせ先	0568-44-0354
負担金の金額	予算額	1,609,000 円	当初交付額	1,609,000 円	決算額	1,609,000 円	前年度決算額	1,609,000 円	

2 負担金の交付先について

交付先の状況	名称	近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会		(法人格の有無)	無	代表者	近世城郭群世界遺産登録推進会 会長 清澤 明子		所在	松本市		
	構成団体	松本市、犬山市、松江市										
	設置の根拠	近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会規約										
	意思決定の方法	会長が総会を招集し、審議の上決定する。										
事務局の体制等	所在	松本市文化観光部文化振興課				代表者		近世城郭群世界遺産登録推進会 会長 清澤 明子				
	事業資金の管理責任者		近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会 事務局長			事業資金の管理者		松本市文化観光部文化振興課				
	契約、支出 決裁の方法	(事務局が市である場合) 市のルールに準じているか？			完全準拠でない 場合の内容等							
		(事務局が市でない場合) 具体的に記述		近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会規約に基づき招集された近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会総会において審議し、負担金額等を決定する。会計監査は監事である松江市が実施する。決定された負担金について、事務局より手続き書類が送付され、会計事務で処理する。						証拠書類 の有無	有	
	事業資金等の保管方法		事務局(松本市文化観光部文化振興課)が金融機関に預け入れている(預金通帳と印鑑は管理責任者が保管)。									

3 負担金の対象となる事業等について

事業内容 (事業の全体像)	近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会総会を開催し、世界遺産登録に係る事務的な内容を確認するとともに、今後の方針等の検討を行った。(令和7年5月22日開催) 世界遺産及び城郭建築の専門家で構成するワーキンググループや、海外専門家を招聘した現地視察・意見交換会を開催し、犬山市・松本市・松江市の三市で、国宝五城の天守を構成要素とする世界文化遺産への登録を目指すための学術的な検討を進めた。(令和7年5月29日、9月26日、令和8年1月26日～31日開催)
(犬山市の役割)	近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会の副会長として、準備会に出席、審議するとともに、議決に係る意見を表明する。ワーキンググループの審議に参加し、構成市として検討に必要な情報提供・資料作成を行う。犬山市が支出した負担金は、ワーキンググループ支援業務委託、ワーキンググループ委員の報償及び旅費等に活用された。
事業実績 (具体的な手法)	令和7年10月に、ワーキンググループの検討に基づく「近世城郭の天守群」提案書(改訂版)を文化庁に対面で提出するなどの働きかけを行った。 令和8年1月に、ICOFORT(城砦・軍事遺産国際学術委員会)前委員長で、要塞や軍事遺産を中心とした世界遺産の専門家である韓国の趙斗元氏を招聘し、犬山城・松本城・松江城の3城の現地視察を踏まえて現在3市が進めている「近世城郭の天守群」の価値やその評価基準について指導・助言を受けた。
負担金を交付して 市が得たメリット	単独での世界遺産登録は事実上不可能であり、5城での登録を見据えてまずは3城で取組みを進めることに対して専門家、文化庁から一定の評価を得ることができている。 負担金を交付し近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会として取り組むことで、事務及び事業費の軽減に貢献した。

4 負担金の交付先における収支等について

犬山市負担金額(当初支出額)		1,609,000 円	精算の有無	無	精算(返還)額	0 円		精算後の負担金の額	1,609,000 円
負担金の対象となる全体事業費(精算がある場合は精算前の額)			収入額	12,012,743 円		支出額	10,939,707 円	余剰額	1,073,036 円
構成員の負担割合(根拠)		均等割(500千円)+残額を人口割 犬山市1,609千円、松江市3,547千円、松本市4,097千円							
余剰額が発生した場合の取扱い		近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会総会の審議を経て、次年度に繰り越し						繰越額	1,073,036 円
交付先における収入の状況(精算前の額)		各市の負担金額(犬山市1,609,000円、松江市3,547,000円、松本市4,097,000円)、繰越金2,747,277円、預金利息12,466円							
交付先における 支出の状況	項目	予算(当初支出時の想定)		決算(実績)					
		積算等	金額	積算等	金額		契約の方法、相手方等		
	報償費	委員謝礼(20,200円*WG委員4名*3回)、WS講師謝礼60,000円*1回	310,000 円	委員謝礼(20,200円*WG委員延べ10名)、海外専門家招聘時現地通訳者謝礼	283,275 円				
	費用弁償	海外専門家招聘旅費、3市市民交流会旅費、WG委員旅費	910,000 円	海外専門家招聘旅費、3市市民交流会旅費、WG委員旅費	579,334 円				
	普通旅費	3県3市による視察及び会議、お城EXPO in 松江参加、海外専門家招聘等に係る事務局同行旅費等	1,006,000 円	国宝五城サミットin松江、ICOFOR金沢大会、文化庁への提案書提出等に係る旅費	773,247 円				
	印刷製本費	WG報告書印刷製本費	90,000 円	WG報告書印刷製本費	68,200 円				
	借上料	準備会総会及びWGに係る会場借上料	160,000 円	準備会総会及びWGに係る会場借上料	139,376 円				
	委託料	①WG・WS等運営支援業務 ②海外専門家招聘支援業務 ③海外専門家との意見交換会に係る通訳業務	9,375,000 円	①WG・WS等運営支援業務 ②海外専門家招聘支援業務 ③海外専門家との意見交換会に係る通訳業務	9,000,000 円		①～③とも随意契約 ①橿文化財保存計画協会 ②橿文化財保存計画協会、 ③橿サイマル・インターナショナル		
	事務局費	振込手数料及び消耗品費等諸経費	100,000 円	振込手数料及び消耗品費等諸経費	96,275 円				
	予備費		50,000 円		0 円				
	合計		12,001,000 円		10,939,707 円				
	積算がない場合の特記事項								

5 負担金の検証について

検証年度	令和7年度実施	検証内容	毎年総会を開催し、前年度の事業実績等について検証を行っている。
------	---------	------	---------------------------------